

議事 1

【2015年活動報告】*上から順番に新しい主要(予定)出来事を記載しています。

【2016年】 予定含む

2016.04.22~24 チェルノブイリ事故(1986.4.26)から30周年。釜山で脱原発・平和の国際フォーラムを開催。「訴訟の会」は主催団体の一つとして参加

03.23 第4回口頭弁論 14:30 東京地裁 103号法廷

02.27 16:00~大阪・南YMCA「訴訟の会」「精神的損害について」学習会 原告・サポータ

02.13 14:00~東京・水道橋 たんぽぽ舎「訴訟の会」第4回総会

01.15 「原発メーカー訴訟の会」会報2号発行

01.27 第3回口頭弁論 10:00 東京地裁 101号法廷

本人訴訟団・崔勝久事務局長の準備書面説明 15分、朴鐘碩の陳述 15分

原告弁護団・準備書面 40分の陳述

【2015年】

2015.12.25 本人訴訟団、東京地裁に選定当事者9名、選定者35名の書面提出
ML管理担当者の独断により、崔前事務局長 ML から排除されるも即復帰した。

12.19(福岡) 12.05(大阪) 「原発メーカー GE・東芝・日立の原発事故の道義的・社会的責任を問ひ、原子炉製造・輸出は、公序良俗に反する」大阪経済法科大学法学部教授・澤野義一教授を招いた学習会

12.03 崔前事務局長、八木沼豊事務局長、朴事務局長、今後の「訴訟の会」民主的な運営、次年度方針、方向性、具体案について話し合う

11.29 事務局は、1年半続いた混乱を克服し、朴事務局長の次年度の【基本方針・公約】に沿って、活動することで和解し、ほぼ一致した。

11.22 11月17日代案が提出されたが岡田・八木沼両名は撤回し、方針案の選挙中止となる。事務局は、本人訴訟団含めて裁判勝利に向けて、原発メーカーの責任を追及することで一致。異議があれば意見交換し、事務局長の活動方針に沿って協力し、具体的活動を推進する。

11.20 事務局長から岡田・八木沼両氏に公開質問状提出

11.14 運営会議 川崎

事務局長は、「混乱の責任をとり、事務局全員辞任する」という提案は撤回し、人事選挙はなくなる。しかし事務局長提案の次年度の公約について、八木沼氏は1と3は同意するが、2について異議があり代案を提出することになった。基本方針を問う選挙を実施することが決まる。

1. 弁護団との対話を求め、訴訟協力体制を作り上げる

2. 「訴訟の会」の結束を求め、裁判勝訴に向けて弁護団原告、本人訴訟両者の協力体制の推進を支援する

3. 海外活動団体、個人との国際連帯強化

10.28 第2回口頭弁論 10:00 東京地裁 103号法廷

裁判所は、民訴法 30 条「選定当事者制度」を認め、選定当事者 6 名(1 名欠席)の原告席を確保した。代理人弁護士がない本人訴訟団は、第 1 準備書面、求釈明書、戊第 1 号証～17 号証・証拠説明書を提出。原告弁護団は、本人訴訟団に準備書面の交換を求める。被告 3 社への抗弁は、互いに相補い、協力することで一致する。双方の窓口は、弁護団・片口浩子弁護士 訴訟の会・朴事務局長 記者会見後、学習会

10. 8～12 イ・ジンソプさん講演会 佐賀 玄海訴訟で意見陳述、糸島・小倉・鹿児島

10. 3 運営会議の場でサポ-タ会員による事務局長への暴力事件

9. 26 横浜長老教会・原告会員に経過説明、意見交換、本人訴訟説明

8. 28 第 1 回口頭弁論 10:00 東京地裁 101 号法廷

崔前事務局長、朴現事務局長 2 名は、弁護士が代理人を辞任したため本人訴訟となる。次回 10 月 28 日口頭弁論に向けて準備書面・陳述書提出を約束

8. 24(福岡国際キリスト教会) 8. 22(大阪・南 YMCA)

「訴訟の会」活動・経過報告 崔前事務局長米国活動報告
熊本一規教授訴状学習会(8/24) 本人訴訟について

8. 21 「訴訟の会」原告・サポ-タ有志、前・現事務局長の代理人を辞任した弁護団に抗議文提出

7. 20 事務局長、弁護団の代理人辞任に対する声明・抗議文を公表

7. 18 福岡地区の原告有志、特定原告を標的にした代理人辞任した弁護団に抗議文提出

7. 16 被告 3 社、GE・日立・東芝から答弁書受領

7. 15～8. 05 崔前事務局長、イ・ジンソプ氏親子、イ・デス氏と共に米・カナダ国際連帯活動
ロナルド・レーガン号で被曝した乗組員の補償を求める担当弁護士と会い、今後の連帯について話し合う

7. 14 原告弁護団、原告である崔前事務局長、朴現事務局長の代理人辞任を通知

7. 04 AM 熊本一規明治学院大学教授を招いて訴状・原賠法・機構法勉強会
PM 拡大事務局会議 9 名参加

7. 03 拡大事務局会議 事務局内部の意思一致を諮るため、渡辺信夫会長、福岡・木村公一牧師 大阪・弓場彬人事務局員など 6 名参加

6. 28 「訴訟の会」原告との話し合いを正式に拒否した弁護団に抗議文提出

6. 15 福岡周辺地区 原告・サポ-タ 意見交換会

6. 09 「訴訟の会」は、弁護団に話し合い申し入れ文書提出

6. 06 進行協議を傍聴した朴事務局長の「報告及び意見書」を公開

6. 03 東京地裁で進行協議打合 弁護団、被告 3 社代理人、原告・朴鐘碩

6. 01 弁護団は、原告である朴に進行協議に参加しないように要請

5. 14 原告・サポ-タとの意見交換 福岡

5. 09 熊本一規明治学院大学教授を招き訴状・原賠法・機構法勉強会 お茶の水 韓国 YMCA

5. 01 4. 28 寺田伸子弁護士から進行協議に「訴訟の会」八木沼・朴 2 名の出席拒否回答

4. 27 寺田弁護士から進行協議日程連絡あり 事務局から八木沼・朴 2 名の参加要請

4. 07 被告 3 社(GE・日立・東芝)に訴状送達

3. 14～21 前事務局長モンゴル・韓国訪問

2.22 「原発と差別、戦後日本を再考する」集会 御茶ノ水・韓国 YMCA

問題提起 崔勝久(原発メ-カ訴訟原告、NNAА 事務局長)

講演

小出裕章(京都大学原子炉実験所)「原子力平和利用は差別の上に成り立つ」

白井聡(文化学園大学)「戦後日本にとって原子力とは何であったか」

総合討論

2.21 第3回総会 規約検討

2.05 「訴訟の会」新事務局、島昭宏弁護士に挨拶

2.01 イ・ジンソプさん講演会 福岡

*他に毎週日曜日 21:00～Skype 会議 1回/月運営会議実施